

## 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 取組状況（令和3年度）について

各施策の進捗状況の評価基準は、次のとおりとする。

- (1) 令和3年度の実績が令和6年度の目標値を超えているものについて、「目標値に到達（↑）」と評価する。
- (2) 平成30年度の基準値と令和3年度の実績を比較して増加率が4割を超えるものについては、目標値に向け「順調に推移（↗）」と評価する。
- (3) 平成30年度の基準値と令和3年度の実績を比較して増加率が2割未満の場合については、「停滞（→）」と評価する。
- (4) 平成30年度の基準値と令和3年度の実績を比較して減少しているものについては、「後退（↘）」と評価する。

### 基本目標1 若者・女性をひきつけるしごと創出

#### 【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	67.0	68.1	68.4	70.0	70.0	↑	経済企画課
大学卒業生の地元就職率	%	44	42	43	44.9	55	→	企画調整課
盛岡公共職業安定所管内の就職率（新規学卒者除く。）	%	38.3	38.5	33.0	34	42.5	↘	経済企画課
盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,426	8,406	8,407	8,436	8,700	→	経済企画課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

#### 【現状分析と今後の方向性】

- 「盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合」は、平成30年度比3.0ポイント増加し、令和6年度の目標に達した。これは、コロナ禍において東京圏での感染者数の増加や、県をまたいで往来が制限される等により県内就職を希望する生徒の増加につながったものと考えられる。
- 「大学卒業生の地元就職率」については、高校生の就職希望の状況に反して、令和2年度43%であったのに対して、令和3年度が44.9%と停滞している。これは、大学生が地元企業を知る機会が不足していることや希望する職種が見つからないなどの理由によるものであると推察されることから、今後は、大学を卒業した人材の地元就職率向上に向けて、高校生から就業に向けた意識を醸成するための「高校生等地元就職フォローアップ事業」や、高度IT人材の地元定着を推進する「盛岡AI・IoTプラットフォーム事業」に取り組む必要がある。

## 戦略 1 多様な仕事の創出

### 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
市インキュベーション <sup>2</sup> 施設の稼働率	%	85.2	79.6	64.0	90	89.9	↑	ものづくり推進課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

2 インキュベーション施設…新規事業の起業支援や、起業家やベンチャー等を自立の目途がつくまで支援する施設のこと。インキュベーションとは孵化（ふか）という本来の意味から転じた経済用語。市インキュベーション施設は、市産業支援センター、市産学官連携研究センター、市新事業創出支援センター。

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「市インキュベーション施設の稼働率」は、令和2年度が64%であったのに対して、令和3年度実績は90%と、目標値である89.9%を上回る成果が得られた。これは、ポストコロナ時代における各種産業の市場の拡大を見据えた、新たなビジネス創出の機運の高まりを反映したものと推察される。今後もインキュベーション施設の運営を通じて起業、新技術や新製品の研究支援を継続するとともに、施設卒業後、市内に立地できるオフィスなどの物件が少ないなどの課題解決に向けて支援策を展開する必要がある。
- 令和3年度まで地方創生推進交付金を活用し展開した「成長分野拠点形成支援事業」により、医療福祉機器製造企業の業績向上及び人材確保につながったが、市内製造業全体の業績向上に寄与する状況まで至っていないことから、交付金終了後も支援を継続する必要がある。

## 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-1-1 創業支援事業【☆】	○	○	○			ものづくり 推進課
1-1-2 盛岡市産学共同研究事業補助 金【☆】	○	○	○			ものづくり 推進課
1-1-3 市インキュベーション施設の 管理運営事業【☆】	○	○	○			ものづくり 推進課
1-1-4 女性の起業・就労支援事業	○	○	○			男女共同参 画推進室
1-1-5 成長分野拠点形成支援事業	◆	◆	○			ものづくり 推進課
1-1-6 新産業等用地整備事業	○	○	○			新産業拠点 形成推進事 務局
1-1-7 道の駅設置事業	○	○	○			道の駅整備 推進室
1-1-8 工場新設拡充等事業	○	○	○			ものづくり 推進課
1-1-9 盛岡広域企業誘致推進事業 【☆】	○	○	○			ものづくり 推進課
1-1-10 国際リニアコライダー <sup>3</sup> 誘致推 進事業	○	○	○			国際リニア コライダー 推進事務局
1-1-11 盛岡AI・IoTプラットフォ ーム事業	○	○	◆			ものづくり 推進課
1-1-12 (仮称)盛岡南地区産業等用地 整備推進事業			○ 新規			新産業拠点 形成推進事 務局
検討 事業						ものづくり 推進課
検討 事業						ものづくり 推進課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

3 国際リニアコライダー（ILC）・・・全長30kmを超える直線の地下トンネルの中に設置される直線形衝突型加速器で、トンネルの中央で電子と陽電子を衝突させる実験装置のこと。ILCの建設地として、「北上高地」が候補地の一つとして挙がっており、建設が実現すれば、国際的な都市機能の充実、施設建設に伴う関連産業の定着、研究成果を活用した産業の創設など、地域経済への多大な波及効果が期待できる。

## 戦略 2 仕事の魅力の向上

## 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
卸・小売の年間販売額	億円	12,664	—	—	—	11,800		経済企画課
1企業あたりの商業サービス業の企業売上高	千円	199,022	—	—	—	185,175		経済企画課
製造品出荷額等	千万円	11,962	12,289	12,554	12,554	11,017	↑	ものづくり 推進課
新規就農者数	人	150	161	186	201	211	↗	農政課
農業総生産額	百万円	9,548 (8,389) (H28)	9,464 (8,669) (H29)	9,292 (8,053) (H30)	7,835 (R1)	10,025	↘	農政課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

※1「卸・小売の年間販売額」及び「1企業あたりの商業サービス業の企業売上高」は経済センサス（隔年調査）によるもので、令和3年度の結果はまだ公表されていない。

※2「農業総生産額」については、県の推計方法の変更等により、平成30年度から令和2年度に公表された数値が遡及改定されたことから、新たに公表された数値をカッコ内に記載している。なお、令和3年度以降の数値については、推計方法の変更等が適用された値が公表されている。

## 【現状分析と今後の方向性】

- 「製造品出荷額等」はすでに目標値を達成しており、コロナ禍においても成長が見受けられることから、ポストコロナ時代における製造品への需要回復を見据えて、引き続き支援することが必要である。
- 「新規就農者数」は、農業次世代人材投資資金、親元就農給付金の交付により、就農直後の所得確保を支えることで、若手就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を促進することができた。今後は、新規就農者を技術面・経営面から総合的に支援するため、関係機関により編成されるサポートチームの機能をさらに強化する必要がある。
- 「農業総生産額」は、基準値から後退しているため、市産農畜産物の販路拡大などを実現することにより、農業や食関連産業の活性や担い手の増加を図る必要がある。

## 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-2-1 新規就農支援事業	○	○	○			農政課
1-2-2 木材需要拡大推進事業	○	○	○			林政課
1-2-3 ものづくり産業魅力向上事業 【☆】	○	○	○			ものづくり 推進課
1-2-4 食と農のバリューアップ推進 事業	○	○	○			食と農の連 携推進室
1-2-5 盛岡の食材プロモーション事 業	○	○	○			食と農の連 携推進室
1-2-6 商店街等の魅力強化支援事業	○	○	○			経済企画課
1-2-7 森林経営管理事業	○	○	○			林政課
1-2-8 森林適正管理推進事業	○	○	○			林政課
1-2-9 中小企業事業承継支援事業	○	○	○			経済企画課
1-2-10 中小企業生産性向上支援事業	○	○	○			経済企画課 ものづくり 推進課
1-2-11 中小企業支援に係る金融機関と 協定の締結	○	○	○			経済企画課
1-2-12 伝統産業振興事業	○	○	○			ものづくり 推進課
1-2-13 介護の仕事魅力発信事業			○ 新規			介護保険課
1-2-14 盛岡市介護職員奨学金返済支 援事業			○ 新規			介護保険課
検討 事業 まちなかりノベーション推進 事業						経済企画課
検討 事業 ビジネスモデル構築支援事業						経済企画課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

### 戦略3 ワーク・ライフ・バランスの推進

#### 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R3	R6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	89	272	61	52	197	↓	経済企画課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↓

#### 【現状分析と今後の方向性】

- 「ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数」は、令和3年度は52社となり、目標値を下回った。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染症リスクを考慮し、セミナーに参加する企業数が少なかったことが要因として挙げられる。今後は、ポストコロナ時代を見据えた新たに働き方改革に取り組む意欲的な企業の掘り起こしに向けて、ICTの活用が生産性向上による働き方に大きな役割を果たすなどの、企業が取り組むメリットを広く周知する必要がある。

#### 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
1-3-1 魅力ある職場づくり推進事業	○	○	○			経済企画課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

## 戦略 4 地域経済を担う人材の育成・確保

### 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
ジョブカフェいわての利用者数	人	51,501	58,171	73,207	76,051	55,000	↑	経済企画課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「ジョブカフェいわての利用者数」は、令和6年度の目標を大きく超え、達成となっている。要因として、東京圏等を中心に新型コロナウイルス感染症が拡大したことより、市外への転出が抑制され、地元就職への機運が高まったものと推察する。今後は、この機を捉え、市内高校生を対象とした就業体験や「モリオカシゴトカメラ」の発行を通じて、高校生等が早期に地元企業の魅力を知る機会を提供することで、より一層の若年層の地元定住を推進する。

## 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-4-1 高校生等地元就職フォローアップ事業【☆】	○	○	○			経済企画課
1-4-2 若年層雇用対策事業【☆】	○	○	○			経済企画課
1-4-3 ふるさとワーキングホリデー事業	○	○	○	廃止		経済企画課
1-4-4 ものづくり人材育成事業【☆】	○	○	○			ものづくり推進課
1-4-5 盛岡テクノミュージアム設置事業	○	○	○ 変更			ものづくり推進課
1-4-6 移住・就労マッチング支援事業	○	○	○			経済企画課
1-4-7 中小企業人材育成支援事業	○	○	○			経済企画課
1-4-8 中小企業デジタル化促進モデル事業			○ 新規	廃止		経済企画課
1-4-9 誰もが活躍できる職場づくりの推進に向けた事業者への啓発と支援事業	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-10 経営者・管理職向けの多様な人材を活かすマネジメント支援事業	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-11 林業労働対策事業	○	○	○ 変更			林政課
1-4-12 女性の起業・就労支援事業（再掲）	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-13 働く女性向けの人材育成事業	○	○	○ 変更			男女共同参画推進室
1-4-14 女性活躍推進団体間におけるネットワークの形成	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-15 オンライン就職面談会	○	○	○			経済企画課
検討事業 多様な主体の活躍の推進に関する調査研究						都市戦略室

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用



## 基本目標 2 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

### 【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
合計特殊出生率※	率	1.35 (H29)	1.29 (H30)	1.28 (R1)	—	1.45		子ども青少年課
出生数	人	2,245 (H29)	2,076 (H30)	2,004 (R1)	—	2,184		子ども青少年課
婚姻率	千人 対	4.7 (H29)	4.4 (H30)	4.6 (R1)	—	4.7		子ども青少年課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↓

※出生数が減少するなか、令和6（2024）年までに合計特殊出生率が1.45に改善し、加えて20-39歳までの社会増減がゼロになると仮定して算出した出生数の推計値

※「合計特殊出生率」、「出生数」及び「婚姻数」は県の統計によるもので、令和3年度の結果はまだ公表されていない。

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「合計特殊出生率」、「出生数」及び「婚姻数」の令和3年の数値がまだ公表されていないため、進捗状況の評価は保留とする。しかしながら、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した「合計特殊出生率」が、令和元年度・2年度ともに基準値の1.35を下回っていることから、女性が安心して子どもを産み・育てることができる環境整備に向けて、結婚・出産・子育てといったライフステージの変化に応じた切れ目のない支援が必要である。
- いきいき岩手結婚サポートセンターの認知度の更なる向上に努め利用促進を図るとともに、結婚支援ボランティアの活動の活発化を図るため、ボランティア同士の情報交換の場を設けることや、活動の周知を進めることなどにより、一層の婚姻件数の増加を図る。
- 不妊に悩む方を支援するため、夫婦の状況に応じた不妊・不育症に関する相談支援や治療に関する情報提供を行うセンターを設置し、悩みを持つ方が安心して相談できる体制を整備する。
- 産休や育休明けなどで年度途中で保育施設への入所を希望する児童の待機を解消するため、幼稚園の認定こども園化の推進も含めた計画的な保育施設の整備のほか、保育士不足への対応や保育士の処遇改善に取り組む。
- 「盛岡市子どもの未来応援プラン」を策定し、子どもの貧困対策を計画的・総合的に推進し、専門機関や地域と連携することで、すべての子供が将来に希望を持つことができるまちを実現する。

## 戦略5 結婚の希望に応える支援

### 【KPI（重要業績評価指標）※1】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R3	R6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
いきいき岩手結婚サポートセンター ※2の成婚実績数（各年）	組	23	23	13	14	25	↓	子ども青少年課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↓

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数」は14件で、目標値の半分となった。これは、コロナ禍により出会う場等が制限されたことが要因と考えられる。
- 今後は、いきいき岩手結婚サポートセンターの認知度の更なる向上に努め利用促進を図るとともに、結婚支援ボランティアの活動の活発化を図るため、活動の周知を進めること、ポストコロナにおけるマッチングの方法を柔軟に変更するなどにより、婚姻件数の増加を図る。

### 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
2-1-1 いきいき岩手結婚サポートセンターの運営への参画	○	○	○			子ども青少年課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

4 いきいき岩手結婚サポートセンター・・・結婚を希望する方々を支援するため、岩手県や県内市町村などが連携して平成27年10月1日に設置。出会いの機会を提供することで、パートナー探しを支援する。通称『i-サポ』

## 戦略6 安心して子どもを産み育てられる環境整備

### 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
保育所待機児童数 (各年度1月1日現在)	人	84	40	0	0	0	↑	子育てあん しん課
市民アンケートで「盛岡市の子育て 支援策・支援活動が充実していると 感じる」と答えた市民の割合	%	19.9	18.9	23.2	19.0	50.0	↘	子ども青少 年課
市民アンケートで「子育てを楽しい と感じている」と答えた子どものい る親の割合	%	74.2	79.7	79.3	82.1	80.0	↑	子ども青少 年課
子育て支援サービス利用者数	人	81,856	64,478	28,694	26,689	86,868	↘	子ども青少 年課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「保育所待機児童数」は、令和4年1月1日現在では「0人」であり、目標を達成している。一方で、産休や育休明けなどで年度途中に入所を希望する児童が、特定の保育所を希望することにより入所できない空き待ち児童がいるため、入所を希望する児童の全てが入所できるように、保育所の新規開設や幼稚園の認定こども園化による定員の拡充や保育士宿舍借上げ支援事業による保育士確保等により、積極的な待機児童対策を展開した。今後も、幼稚園の認定こども園化による定員の拡充や若手保育士処遇改善支援事業などの保育士確保に取り組み、継続した待機児童の解消を図る。
- 「子育てを楽しいと感じている」と答えた子どものいる親の割合が目標値に達している一方で、「盛岡市の子育て支援・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合と「子育て支援サービス利用者数」は基準値より後退している。これは、支援制度に関する情報が子育て世帯に適切に届いていないためと推察されることから、今後は、子どもの成長段階に応じて子育て世帯に必要な情報が確実に届くよう、「子ども・子育て情報発信事業」などにより広く情報発信に取り組む必要がある。

## 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
2-6-1 待機児童解消強化事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-2 私立児童福祉施設等整備助成事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-3 企業主導型保育事業の推進	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-4 私立児童福祉施設等運営事業	○	○	○			子ども青少年課 子育てあんしん課
2-6-5 保育所管理運営事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-6 特別保育事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-7 地域児童クラブ運営事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-8 放課後児童健全育成事業実施施設整備補助事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-9 児童館管理運営事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-10 児童館整備事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-11 医療費給付事業（妊産婦、乳幼児、小学生、中学生）	○	○	○			医療助成年金課
2-6-12 母子保健事業	○	○	○			母子健康課
2-6-13 産婦健康診査事業	○	○	○			母子健康課
2-6-14 産後ケア事業	○	○	○ 変更			母子健康課
2-6-15 新生児聴覚検査事業	○	○	○			母子健康課
2-6-16 乳幼児健康診査事業	○	○	○			母子健康課
2-6-17 小児救急輪番制病院事業【☆】	○	○	○			企画総務課
2-6-18 地域における子育てサロン支援事業	○	○	○			地域福祉課
2-6-19 地域子育て支援センター事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-20 つどいの広場管理運営事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-21 赤ちゃんの駅設置事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-22 乳児家庭全戸訪問等事業	○	○	○			母子健康課
2-6-23 公民館による子育て関連講座	○	○	○			生涯学習課

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
2-6-24 空き家等バンク制度の普及	○	○	○			都市計画課
2-6-25 子どもに安心して教育を受けさせるための取組	○	○	○			学務教職員課 学校教育課
2-6-26 子育て世代包括支援センター事業	○	○	○ 変更			母子健康課
2-6-27 子どもの貧困対策推進事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-28 子ども家庭総合支援センター事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-29 養育支援訪問（家事援助）事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-30 子育て支援員等研修事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-31 認定こども園等運営費給付事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-32 子育て応援プラザ運営事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-33 子ども未来基金事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-34 保育士確保対策事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-35 不妊に悩む方への特定治療支援事業	○	○	○ 変更			母子健康課
2-6-36 予防接種事業	○	○	○			保健予防課
2-6-37 就学援助事業	○	○	○			学務教職員課
2-6-38 保育所等副食費助成事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-39 第2子以降の保育料の無償化事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-40 余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業			○ 新規			子ども青少年課
2-6-41 子ども・子育て情報発信事業			○ 新規			子ども青少年課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

### 基本目標 3 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上

#### 【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
20 歳から 39 歳までの人口移動数	人	△395	△600	△329	△135	0	↗	企画調整課
観光客入込数	万人 回	508	519	324	310	530	↘	観光課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

#### 【現状分析と今後の方向性】

- 「20 歳から 39 歳までの人口移動数」は令和 3 年度△135 人となっており、基準値と比べ改善したものの、依然として若者の東京圏や宮城県への転出超過が続いている。今後は、東京圏等においてテレワークの普及による地方移住への関心が高まっているこの機を捉え、「盛岡という星で」プロジェクトによる関係人口の創出に向けた各種情報発信等の取組を行うとともに、地元高校生や大学生が地域課題を研究する探究学習への支援など、若者が地域とつながる機会を創出することで、移住・定住・関係人口対策を包括的に推進する。
- 「観光客入込数」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」への転換等の影響により、令和 3 年度も引き続き基準値を下回っている状況にある。令和 4 年度は、3 年ぶりに各種イベントが開催されるなど、ポストコロナ時代を見据えた観光需要の回復が見込まれることから、今後は、令和 3 年 12 月に策定した「盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン」に基づき、感染拡大防止策と国内外からの観光需要獲得の両立に向けて、観光施策を展開する必要がある。

## 戦略 7 関係人口・交流人口の増加

## 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
宿泊観光客数	万人 回	99	107	66	68	115	↓	観光課
外国人観光客入込数	万人 回	5.0	6.5	1.0	0.4	15.0	↓	観光課
ふるさと納税寄付人数	人	1,797	4,051	5,079	6,890	4,500	↑	都市戦略室

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↓

## 【現状分析と今後の方向性】

- 「宿泊観光客数」は、令和3年度は66万人回と基準値に比べ33万人回減少している。また、「外国人観光客入込数」も、0.4万人回と大幅に減少している。これは、新型コロナウイルス感染症拡大による都道府県を跨いだ往来の自粛や国外からの入国者に対する水際対策の徹底による国内外の観光需要の大幅な減少によるものであり、ポストコロナ時代の観光需要の回復を確実に獲得するために、効果的なプロモーションの検討と実施が必要である。
- 「ふるさと納税寄付人数」は、令和3年度6,890人と、基準値と比べ大幅に増加していることから、関係人口の増加に一定の効果を果たしている。その一方で、全国的にふるさと納税額及び人数はさらに増加傾向にあることから、その需要を獲得するために、令和4年度からさらに2つのポータルサイトを拡充するとともに、納税者にとって魅力的な体験型返礼品を開発することで、貴重な財源の確保とシティプロモーションを一層推進する。
- 令和2年3月に策定した「市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき、担当課が実施する事業においてプロモーションの対象となるターゲット設定の考え方や情報発信の方法、効果分析手法などを共有し、適宜アドバイスを行うほか、市民が主体となった情報発信を推進することで、シビックプライドの情勢を図りながら、ポストコロナにおける交流人口の増加を見据え、市全体の情報発信力を強化する。

## 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-7-1 シティプロモーションの推進 (アウタープロモーション)	◆	◆	◆			都市戦略室
3-7-2 スポーツ・ツーリズム <sup>※5</sup> の推進 【☆】	○	○	○ 変更			スポーツ推 進課
3-7-3 盛岡芸妓育成事業	○	○	○			観光課
3-7-4 外国人観光客誘致推進事業 【☆】	○	○	○			観光課
3-7-5 教育旅行誘致推進事業			○ 新規			観光課
3-7-6 開運橋魅力向上事業	○	○	○			観光課
3-7-7 観光プロモーション事業	○	○	◆			観光課 ものづくり 推進課
3-7-8 祭り・イベント振興事業	○	○	○			観光課
3-7-9 MICE誘致推進事業【☆】	○	○	○			観光課
3-7-10 広域観光推進事業【☆】	○	○	○			観光課
3-7-11 いしがきミュージックフェスティ バル実行委員会への参画	○	○	○			公園みどり 課
3-7-12 ふるさと納税制度の普及	○	○	○ 変更			企画調整課
3-7-13 大型観光キャンペーン事業	○	○	○			観光課
3-7-14 総合交流ターミナル機能拡充事 業	○	○	○			産業振興課
3-7-15 盛岡ファン・コミュニティの活 動支援・環境整備	◆	◆	◆			都市戦略室
3-7-16 関係人口等と地域課題のマッ チング支援等	◆	◆	◆			都市戦略室
3-7-17 サクラパーク姫神を拠点とした 桜の名所づくり	○	○	○			産業振興課
3-7-18 盛岡地区かわまちづくり事業	○	○	○			公園みどり 課
3-7-19 小学生農村体験交流事業	○	○	○			玉山総合事 務所総務課
検討 事業 若者をひきつける都市の調査・ 研究						都市戦略室
検討 事業 県外企業・大学を対象とした関 係人口創出事業						都市戦略室

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

5 スポーツ・ツーリズム・・・スポーツを通じた交流人口の拡大のほか賑わいの創出や地域振興に結びつく取組全般。例えば、プロスポーツ等の観戦やスポーツ合宿などを主目的に、開催地周辺の観光を組み合わせた旅行形態等。



## 戦略 8 地元への愛着の形成、移住・定住の促進

### 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
U I ターン相談件数	件	164	141	169	172	300	→	都市戦略室
移住支援金を活用して移住した 件数（各年）	件	0	1	4	8	11	↗	都市戦略室

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「U I ターン相談件数」は、令和 3 年度 172 件であり、平成 30 年実績と比べて横ばいとなった。これは、移住定住施策の実施により、コロナ禍により東京圏でのイベント出展等が中止となるが多かったことが主な要因である。令和 4 年度は、ポストコロナを見据えて東京圏でのイベントが複数予定されていることから、U I ターン相談件数の増加が見込まれる。
- 東京圏等における盛岡に関することをキーワードに活動する団体の支援や、盛岡の暮らしや仕事を体験できるコンテンツ作り、交流人口対策に重点をおいた取組を通して移住や定住の推進を図るための事業を展開する。
- 関係人口交流拠点において、地元高校生や大学生が地域課題を研究する探究学習への支援範囲を、令和 3 年度の 4 校から令和 4 年度はさらに支援の機会を増やすことを予定しており、進学や就職等で東京圏に転出しても将来 U ターンをしてもらえるよう、盛岡への愛郷心の醸成を図る。
- 移住支援金を活用して移住した件数については、新型コロナウイルス感染症拡大を契機としてテレワークが浸透し、場所を選ばず仕事ができるようになったことなどを理由に、申請件数が増加している。今後も、支援金活用による移住者を増加させるため、情報発信等を強化し制度を周知する必要がある。

## 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-8-1 地域おこし協力隊 <sup>※6</sup> 活用事業【☆】	○	○	○			企画調整課 都市戦略室 農政課 産業振興課
3-8-2 官民連携による移住・交流を促進するための拠点の整備	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-3 お試し居住事業（盛岡広域移住・定住促進事業を含む。）【☆】	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-4 移住・定住の促進にかかるプロモーション	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-5 定住化対策空き家等利用促進事業	○	○	○ 変更			都市計画課
3-8-6 シティプロモーションの推進（インナープロモーション）	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-7 移住・就労マッチング支援事業（再掲）	○	○	○			経済企画課
3-8-8 高校生等を中心とした地域課題解決・愛郷心の形成	○	○	○			都市戦略室
検討事業 お試しテレワーク推進事業						経済企画課 都市戦略室

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

6 地域おこし協力隊・・・都市地域から過疎地域等の条件不利地域に生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと。

## 戦略 9 都市機能の強化

## 【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R 1	R 2	R 3	R 6 目標値	進捗 状況 <sup>1</sup>	担当課
1日あたりのバス・鉄道利用者数	人	75、 827 (H29)	74、 863 (H30)	72、 769 (R1)	52、 265 (R2)	74、 600	↘	交通政策課
宿泊観光客数（再掲）	万人 回	99	107	66	68	115	↘	観光課

1 進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘

## 【現状分析と今後の方向性】

- 「1日あたりのバス・鉄道利用者数」は、平成30年度より23,562人の大幅な減少となった。これは、少子高齢化による公共交通機関の利用者の減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国民に対して国が不要不急の外出自粛要請が呼びかけたことや、各種イベントの開催が中止されたことにより、市民の移動が抑制されたためと推察される。今後は、3年ぶりに各種イベントが開催される等、市中の移動が活発になることが予想されることから、公共交通機関の利便性向上に向けて支援するなど、利用者の獲得に向けた対応が求められる。
- 全国において新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の減少が見受けられるなど、暮らしを取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、「新しい日常」の実現に向けて、長期的・分野横断的な視点を持って、デジタル化の推進による地域社会・経済全体の仕組みの変革が求められている。今後は、官民一体となってデジタルトランスフォーメーションに対応するために、デジタル化によるまちづくり推進戦略を策定するなど、ポストコロナ時代を見据えた都市機能の高度化を一層推進する必要がある。

## 【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-9-1 中枢中核都市機能の強化に係る調査研究	○	○	○			都市戦略室
3-9-2 デジタル化による未来社会の創生	○	○	○ 変更			都市戦略室
3-9-3 地方創生SDGs推進に係る調査研究	○	○	○			都市戦略室
3-9-4 盛岡市動物公園再生事業	○	○	○			公園みどり課
3-9-5 スポーツ・ツーリズム <sup>7</sup> の推進(施設整備)	◆	○	○ 変更			スポーツ推進課
3-9-6 田沢湖線前潟駅整備事業	○	○	○			交通政策課
3-9-7 地域公共交通サービス向上支援事業	○	○	○			交通政策課
3-9-8 まちなかウォークアブル推進事業			○ 新規			まちなか未来創生室
3-9-9 盛岡バスセンター整備事業	○	○	○			まちなか未来創生室

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◆】・・・地方創生の交付金を活用 【○】・・・市単独又は地方創生以外の補助金等を活用